

磐城時報

編輯者 田中弘成 印刷所 磐城時報印刷部 電話 一四四

信用組合長後任は 輸入の外あるまい

諸橋、山崎兩氏なら適任

信用組合平庶民金庫理事長青沼組の新川改修工事は平町地内... 諸橋、山崎兩氏なら適任

新川の組合

一先づ解散

平町外二ヶ村聯合新川悪水豫防... 新川の組合

小濱海岸船溜所

修築の起工式

比佐代議士も臨席

石城郡植田町大字小濱は縣下隨く且つ交通不便のため久しく今夏石城郡下海岸方面の稲作に... 比佐代議士も臨席

比佐代議士

議會報告演説會

石城郡選出民政黨代議士比佐昌平氏の臨時議會報告演説會は十日午後六時から平町警察館に...

郷土訪問飛行

來月五日に決定

既報平町二町目松崎安氏二男二郎(二三)君の郷土訪問飛行は十月五日に決定した。當日の二...

給料を貰へぬ

平署に解決方を嘆願

南會津郡二河村白石生れ玉川榮れ五十余町歩に達し收穫半減は... 平署に解決方を嘆願

豚コレラのため

一家離散のかなしみ

磐崎村の農村悲活

磐崎村の農村悲活... 一家離散のかなしみ

カフェーの店先きに 葬式道具を並べる

登壇を拒絶された男の仕業 營業妨害で送局

内郷村大字居住秋田縣北秋田等を持ち來り店前に並べておいて... 登壇を拒絶された男の仕業

夏井川の鐵橋に

ブラ下つて命拾ひ

十七日午後三時十九分頃磐城東養豚全部が豚コレラにかつて... 夏井川の鐵橋に

元銀行員

横領事件公判

元磐城銀行員齋藤廣吉(三五)にかつて行金三万余圓の横領事件... 横領事件公判

小名濱築港に

用ひる起重機船

宮城縣石巻港の内務省鐵工場で約四萬圓の工費で新造中の小名濱築港に用ひる起重機船は半形長...

讀者論談

大井川生投

從て單なる偶發的に日本のみならず起つてある特殊現象ではない。資本主義社會が現實の如く最後の危機的デレンマに遭遇した時、何處の資本家的國家にも必然的傾向を以て具現されるものである。...

カキ貝 御料理

カキフライ 二十五錢
 カキナベ 四十錢 其他
 スカキ 二十錢
 ランチルーム 一の井
 御料理 電一六七

新築落成開業御披露

秋冷の候皆々様には彌々御清祥に涉らせられ慶賀の至りに存じます。御高配を賜はりまして誠に有り難く感謝に堪へません、爾來銳意新築工事中の處此程愈々完成し茲に甦生の陣容を整へて再びお華客皆々様をお迎へし最善の奉仕が出来る事になりましたので來十七日神嘗祭の佳辰を卜し營業を開始する事に相成りました。何卒倍舊の御愛顧を垂れさせられ度新築落成御披露旁々茲に謹んで懇願申し上げます。尙ほ三階大廣間の宴會席御利用に就ては格安の御相談に應ずる外新設食堂部では牛鍋御飯付三十五錢、お酒一本三十錢で大々の勉強を致します。昭和七年十月

石川亭
 電話四三番

吉田眼科病院

平町紺屋町 電話六八番

近日賣出す發賣品は
満腹.....?

せ魚屋會堂

一人前十五錢で満腹
 平町三丁目
 電話六三三番

學生服賣出



小倉黒な丈夫な温かい通學服を豊富に取揃へて提供
 小學用 長ズボン付 ¥0.85
 全.....特製品 ¥2.00
 中學用特製品 ¥2.90

ふかや洋服店 平電203

かまぼこ 折詰仕出し

御惣菜用さつま揚、吉原揚
 平町二丁目
 藤市蒲鉾店
 電話三〇五番

蓄積安心 融通低利

三本無盡

大藏大臣免許
 湯本信用無盡社會
 電話四七番

胃腸 毒梅

内科 専門
 腸十二指腸 婦人病 皮膚病
 松村村 胃腸科 腸胃病 腸胃病
 平町南町 (電話一七〇)

共存共栄

磐城無盡

大藏大臣免許
 平町三丁目 電話三七八番
 簡易金融 趣味味貯蓄

町民諸君ニ御挨拶

私儀大正八年以來職ヲ當町ニ奉ジ町民諸君ノ深厚ナル御援助ヲ忝フ候處追々老境ニ入り且ツ健康相勝レズ候ニ付上水道擴張工事竣成ヲ期トシ今回退職致候爰ニ乍畧儀以紙上御挨拶申上候
 昭和七年十月十四日
 敬具

伏見彦衛

三河産業博覽會 金牌受賞
 昭和産業博覽會

かまぼこ 折詰仕出し

製造 平町一丁目
 お惣菜用 さつま揚
 吉原揚 藤寅
 電話一四一番

家傳腫物湯

のんで効く ばれ物の妙薬

主一 面癩 二 乳の腫れ 三 指のはれ 四 林巴腺の腫れ
 五 耳鼻のおでき 六 骨膜炎 七 筋炎 八 はれ物手術の前後
 効一等よし
 ◎特にかばのおでき、乳のはれは切らずに治り醜き痕を残さず美容上最適の治療劑なり

定價 五十錢 七十錢 一圓十錢 一圓五十錢

特約店
 平町四丁目 小野藥店 四ッ倉町 荒川藥店
 植田町 松本藥店 富岡町 莊野藥店
 湯本町 岩瀬屋藥店
 腫物湯製劑所 茨城縣下孫 磯野健生堂